

心に残る音風景

木岡伸夫氏プロフィール



1951年、奈良県に生まれる。京都大学文学部(哲学)卒業、大学院D.C.退学後、大阪府立大学総合科学部、関西大学文学部を経て、同大学名誉教授。
人と自然、人と人の関係性を考える、最も広い意味での環境哲学を、ライフワークとして手がける。
2002年度の在外研修でオギュスタン・ベルクに師事。
以後、和辻哲郎が切り拓き、ベルクに継承された「風土学」の理論構築を、自身の課題として取り組み、新しい哲学としての「風土学」を世に広める挑戦に乗り出す。
風土学の理論三部作『風景の論理——沈黙から語りへ』(世界思想社、2007年)、
『風土の論理——地理哲学への道』(ミネルヴァ書房、2011年)、
『邂逅の論理——〈縁〉の結ぶ世界へ』(春秋社、2017年)の他、
『環境問題とは何か——12の扉から』(編著、晃洋書房、1999年)、
『〈縁〉と〈出会い〉の空間へ——都市の風土学12講』(編著、萌書房、2019年)など著書、編著書多数。

アクセス

電車利用

総武線幕張駅又は、京成千葉線幕張駅下車。
海岸方向へ1キロメートル(徒歩15分)

京葉線海浜幕張駅下車。北方向へ1キロメートル(徒歩15分)

路線バスを利用

JR幕張駅(北口)より千葉シーサイドバスで「総合教育センター」下車(所要約5分)

京成幕張駅より京成バスで「総合教育センター」下車(所要約5分)

JR海浜幕張駅(北口)より千葉シーサイドバス、京成バスで「総合教育センター」下車(所要約5分)

電車でのアクセス



周辺図

※放送大学附属図書館へは北門利用が便利です



お問い合わせ

(一社)日本サウンドスケープ協会「心に残る音風景」シンポジウム実行委員会
担当: 兼古勝史 ktsknk@gmail.com

